

企画案

ベースボールの歴史を飾る
伝説の名プレイヤーが復活！

永久欠番列伝

永久欠番伝説

伝説の永久欠番選手たち

永久欠番について

「永久欠番」—あらゆるスポーツ選手においてこれ以上の名誉はない。ただこの「永久欠番」、日米ともにその定義、基準は非常にあいまいなものがあります。アメリカメジャーリーグに関しては実に142個もの永久欠番が存在しているのに対し、日本のプロ野球はわずか14個。その差は一体どこにあるのか？永久欠番にはなっていないくても、球史を代表する選手も数多くいます。

基本的に「永久欠番」とは、その球団に永きにわたって貢献した選手に与えられるものですが、ジャイアンツの金田正一のように、現役最後の5年間だけしか所属していないのに永久欠番にするような例もあります。日米の永久欠番に対する意識の差、選考基準の違いなどを比較し、日米ともに矛盾点などをあげていくと面白いのではないのでしょうか。

とくにアメリカの場合、日本と違って監督なども永久欠番になることがあったり、一人の選手が複数の球団に永久欠番をもっていたりもするので、そのあたりの日本とはちょっと違う永久欠番のあり方を書いても面白いと思います。

永久欠番となっている選手は、例外なく伝説になるような名プレイヤーですので、雑学やうんちく的なエピソードにも事欠きません。

また、永久欠番になっていないくても、十分それに値するような成績を残している名選手や、え？こんな有名なのだから欠番にすればいいのに！というような選手を紹介。

さらには、今現在その番号を受け継いでいる選手も少し紹介し、その番号の持つ「重み」のようなものを表現できればいいと思っております。

これから先、永久欠番になりそうな選手(イチローなど)を予想するような章があっても面白いと思います。

読者対象

プロ野球好きの男性 10代後半～50代

永久欠番選手リスト

巨人	1	王貞治	868 本塁打は世界記録
	3	長島茂雄	ミスタージャイアンツ
	4	黒沢俊夫	現役中、腸チフスで急死
	14	沢村栄治	伝説の名投手
	16	川上哲治	首位打者 5 回
	34	金田正一	通算 400 勝は歴代最多
阪神	10	藤村富美男	ミスタータイガース
	11	村山実	通算勝利数が球団最多
	23	吉田義男	守備の名手
中日	10	服部受弘	通算 112 勝、野手としても活躍
	15	西沢道夫	投打で活躍し、初優勝に貢献
広島	3	衣笠祥雄	連続試合出場記録は歴代最多
	8	山本浩二	ミスター赤ヘル

近鉄	1	鈴木啓示	オリックスとの球団合併時に消滅
西鉄	3	大下弘	後に東映フライヤーズ監督就任時に返上し失効
	6	中西太	太平洋クラブへの球団譲渡時に失効
	24	稲尾和久	太平洋クラブへの球団譲渡時に失効

1章 プロローグ 永久欠番とは？

2章 彼らが伝説のプレイヤーだ！日米永久欠番選手リスト

日米のべ156人の永久欠番保持者のリスト紹介。簡単なプロフィール(成績など)をのせることで、選手の特徴、成績が簡単にわかるように工夫します。(写真があればベスト)

3章 日米永久欠番の違い

日本とアメリカの永久欠番に対する意識の違い。
永久欠番になっている選手の数の差、数年しかチームに在籍しなくてもアメリカでは欠番にするなどから違いを考える。

4章 永久欠番名プレイヤー列伝～日本編～

日本のプロ野球で永久欠番になっている選手の紹介。通算成績からプロフィール、現役時代の逸話など各選手見開きもしくは4Pで特集。

5章 永久欠番名プレイヤー列伝～アメリカ編～

2007年現在、永久欠番になっているアメリカメジャーリーグの名プレイヤーを数人抜粋し、そのプロフィール、成績、エピソードなどを紹介する。

5章 え？！あの人、永久欠番じゃないの？

偉大な成績を残しているにもかかわらず、その番号が欠番になっていない数多くの名選手のうち、何人か紹介する。永久欠番選手の成績と比較するなどして、その選手が永久欠番に値する選手であることを実証した上で、なぜ欠番になっていないのか。(主に移籍などが理由)また、その番号を今引き継いでいる選手も紹介し、その背番号の持つ「重み」や「意味」を説明する。

6章 彼らが将来の永久欠番選手だ！！

将来永久欠番になりそうな選手、番号を予想、紹介する。なぜその選手が永久欠番にふさわしいのか、その理由を実績、功績などをもとに検証する。

永久欠番候補選手	チーム	番号
日本球界		
○イチロー	オリックス、マリナース	5 1
×立浪和義	ドラゴンズ	3
×上原浩治	ジャイアンツ	1 9
×桑田真澄	ジャイアンツ	1 8
メジャーリーグ		
◎イチロー	マリナース	5 1
◎D・ジーター	ヤンキース	2
×R・クレメンス	レッドソックス、ブルージェイズ、ヤンキース、アストロズ	2 2
×B・ボンズ	ジャイアンツ	2 5